

## 道路の雑草対策 北九州市と奈良県五條市を比較する

伊藤久雄（NPO法人まちぽっとスタッフ）

北九州市が「雑草を生えなくする「防草対策」へ転換」という記事を見て驚いた。北九州市の発想は、雑草が生えている中央分離帯などにコンクリートを打つのが「防草」ということらしい。経費の削減にはなるだろうが、降水が地下に浸透せずに下水に流れ込むことは、洪水対策や景観の観点からみてどうなのか？ 検証が必要だ、と私が書いているブログ（市民自治ノート）にコメントを載せた（2024年10月2日）。

その後、道路の雑草対策に関する論文等を検索したところ、「自治体による雑草抑制対策の取組について」（五條市役所、邨井崇史・中上尚人氏）という論文をみつけた。内容は北九州市とは発想がまったく異なっている。

本稿では両市の考え方や取組みを紹介し、今後の課題を考えたいと思う。

### 1. 北九州市の考え方と取組み

#### （1）道路における防草対策の概要

##### ○ 防草対策への転換

伸びたら刈る「除草主体の対策」では、

- ・道路環境を常時良好な状態に保つことが難しい
- ・人件費等が高騰する中、将来的な維持管理費の確保が懸念される

ことから、雑草を生えなくする「防草対策」へ転換していくことが必要

##### ○ これまでの防草対策の取組（中央分離帯のコンクリート舗装化）

- ・平成28年度から中央分離帯のコンクリート舗装化による防草対策を開始。
- ・コンクリート舗装化した目地部分から雑草が生える事例が見られたため、平成30年度から令和元年度にかけて試験施工を実施。
- ・試験施工の成果（雑草の抑制効果、整備費用等）を踏まえ、効果が高い施工方法を令和2年度から導入。

※標準仕様については、その後もコンクリート厚さなどを適宜見直し

- ・令和3年度から令和5年度の3年間で、走行性や安全性の点で要望が多い箇所など、路線を決めて計画的に整備を実施。

#### （2）整備実績

##### ○ 実施時期 延長 面積

- ・平成28年～令和2年 約16km 約2.0万㎡

- ・令和3年～令和5年(3年計画) 約15km 約1.8万㎡
- ・合計 約31km 約3.8万㎡



コンクリート舗装化（施工後3年時点）

## 2. 五條市の考え方と取組み

### (1) 道路管理における草刈業務について

五條市の市道は、市内の主要箇所を結ぶ幹線道路や主要道に接続するアクセス道路、地域の生活道路など、大小972路線、約800kmがある。

道路環境の維持に係る草刈作業については、比較的作業スペースが確保されているような場所では、シルバー人材センター等へ依頼しているが、歩道がなく路側帯が狭いような箇所では、職員が安全に留意しながら、直接作業を行っている。管理延長が長く、繁茂時期も重なるため、市民やドライバーが望む理想的なタイミングで一気に処理することが難しい。

※論文には公園管理における草刈業務についても記述されているが、割愛する。

### (2) 市民が望む雑草抑制対策の検討

#### ① 検討ワーキングの設立

五條市では、除草等の維持管理の負担をできるだけ減らし、さらに景観に配慮した雑草抑制対策を実現するため、民間企業の協力を得て、官民連携による検討ワーキングを立ち上げることにした。

#### ② 対策案の検討

検討ワーキングでは、木質チップを活用した雑草抑制対策と、雑草抑制効果のある植生（グラウンドカバー）を活用した対策の2案を候補として採用することとした。

※雑草抑制効果のあるグラウンドカバーにより雑草の繁茂を防ぐ。

以下の 3 種類の植生による 3 ケースを設定。

- ア クローバー
- イ タイム（ハーブとして人々に親しまれている）
- ウ シバザクラ

### （3）実用化に向けたロードマップ

- 2022 年度：試験 A における木質チップの敷設、試験 B における除草剤による地下対策。
- 2023 年度：試験 B におけるグランドカバーの定植及び経過観察、地域報告会の開催。
- 2024 年度：試験施工の効果分析、他地域への適用検討、モデル地域の選定及び施工



ウッドチップ試験地



グランドカバー試験地

### （4）今後の予定

雑草繁茂の最盛期を迎える夏場、状況を確認し、各自治会や関係者への報告会を開催すると共に、意見を聴取し、意向を反映する。実運用に向けて、地域の意向を確認し、希望箇所の選定を行う。試験 B における選択肢を増やすため、様々なグランドカバーの適性、維持管理特性及びコストなどを比較分析し、五條市の現状に相応しい緑地帯等管理方策を整理する。

## 3. 今後の課題

北九州市では、今年 3 月の新年度予算の審議で除草作業予算の削減をめぐって、市長と、市長と対立する会派との論争があった。下記の記事の見出しでは「公園や河川の雑草」とあるが、道路の雑草も含まれる、

■公園や河川の雑草 「コンクリートで固めて草刈の面積と費用減らす」市長の提案に議員が待った！ (2024/03/19 RKBオンライン) 以下、記事の内容。

◆北九州市 除草作業予算を削減

北九州市議会では19日、新年度予算案を審議する予算特別委員会が開かれました。このうち、自民党・無所属の会が増額するよう求めたのは、河川や公園などの除草事業で削減された予算についてです。

◆議員「削減には大きな疑念」

自民党・無所属の会 西田一市議

「道路等の除草の回数が削減されるようであります。現状でも不十分な認識であります。これをさらに削減することに大きな疑念を抱かざるをえません」

◆市長「未来志向の挑戦」と答弁

北九州市 武内和久市長

「大胆に見直し、未来志向で挑戦をしていくことが求められると考えております。現在の『雑草が伸びたら刈る』という除草主体の対策から除草が生えないようにする防草対策へのシフトをしていく」

◆浮かせた財源「次世代投資枠にする」

北九州市は、毎年1～2回としていた除草の回数を変えず、草が生えている場所をコンクリートなどで舗装する防草対策を実施するため、除草が必要な面積を減らして事業費を1億7000万円削減するとしています。武内市長はこうした行財政改革で捻出した財源を「次世代投資枠」として確保し、子育て支援や学校など公共施設の老朽化対策などを進める考えです。

※公園や河川の除草費は前年度並に、市議会が動議可決 (この記事の続報)

福岡県北九州市が新年度予算案で削減していた除草費用について、市議会の委員会は22日、予算案の組み替えを求める動議を賛成多数で可決しました。これを受け市は前年度と同水準の除草費用を補正予算で確保する方針です。

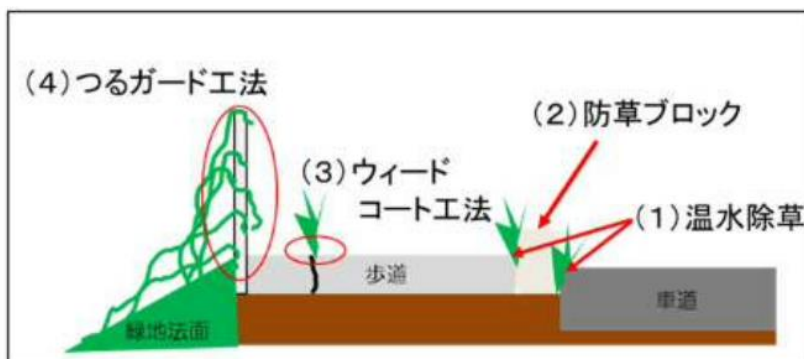
▽ ▽ ▽

北九州市の除草対策は、市長対自民党の対立が背景にあったとはいえ、予算削減動議が賛成多数で可決され、市長提案に待ったがかけられた。今後どうなるかは分からないが、少なくとも市民の意見を反映するような取組みを求めたいと思う。

五条市の取組みは、民間企業の協力を得た官民連携による検討ワーキングの立ちあげと、その検討にもとづく試験施工の実施、自治会や関係者への報告会の開催など、取組みの過程も市民意見を反映しようと努力されている。その取組みの姿勢を他都市も継承すべきだと考える。

なお、関東地方整備局大宮国道事務所春日部国道出張所の羽山勇輝氏が、国道管理における雑草対策の取組みを報告している (国土交通省関東地方整備局スキルアップセミナー関東WEB)。

詳細な報告なので参考資料を読んで頂きたいが、4つの試験施工の結果を報告したものである。4つの試験施工とは次の工法である。



- ① 温水除草
- ② 防草ブロック
- ③ ウィードコート工法
- ④ つるガード工法（それぞれの工法は参考資料に詳しい）

この取組みを関東地方整備局スキルアップセミナーにおいて報告し、議論していることも賞賛に値する。五條市の取組みも近畿地方整備局研究発表会で報告されたものであった。新しい技術が次から次へと開発されているということだが、その新技術を試験施工というかたちで試み、国のみならず自治体全体でも共通認識としていくことが、人員削減や委託ばやりの昨今であるからこそ、今後ますます必要になると思われる。

#### <参考資料>

- 道路における防草対策の取組について（北九州市、令和6年6月27日）  
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/001094611.pdf>
- 自治体による雑草抑制対策の取組について（五條市役所、邨井崇史・中上尚人）  
アカウントビリティ・行政サービス：No. 18（令和5年度近畿地方整備局研究発表会 論文集）  
<https://www.kkr.mlit.go.jp/plan/happyou/theses/2023/lbhrs000000m6ag-att/a1684912459049.pdf>
- 公園や河川の雑草 「コンクリートで固めて草刈の面積と費用減らす」市長の提案に議員が待った！（2024/03/19 RKBオンライン）  
<https://rkb.jp/contents/202403/202403190710/>
- 道路管理としての雑草対策の取組について（羽山勇輝、関東地方整備局 大宮国道事務所 春日部国道出張所） 2021年 国土交通省関東地方整備局スキルアップセミナー関東（Web）  
[https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr\\_content/content/000804241.pdf](https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000804241.pdf)